



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **59141878 A**(43) Date of publication of application: **14.08.84**

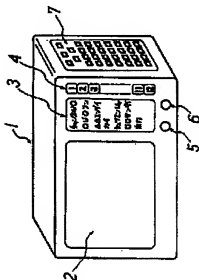
(51) Int. Cl.

H04N 5/64(21) Application number: **58015407**(71) Applicant: **TANAKA RIICHIRO**(22) Date of filing: **03.02.83**(72) Inventor: **TANAKA RIICHIRO****(54) TELEVISION WITH EXCLUSIVE DISPLAY DEVICE FOR PROGRAM****(57) Abstract:**

PURPOSE: To display a program of an optional TV station on a TV receiver by providing an exclusive display device for program at the circumference of a TV screen.

CONSTITUTION: An exclusive display device 3 for TV program is set at the circumference of a TV screen 2 of a TV receiver main body 1. This device 3 incorporates a microcomputer and calls out in real time the stored TV programs in accordance with time points for display. The TV programs are fed to a microcomputer by means of an input button group 7. When a user wants to know the programs other than that of the projected channel, the user pushes a channel selection button 4 to display the channel No., the time point, the title of the program, the performers, etc. to the device 3. In addition, a time selection button is provided to display an optional program at a designated time point.

COPYRIGHT: (C)1984,JPO&Japlo



12 公開特許公報 (A)

昭59-141878

51 Int. Cl.³
H 04 N 5/64

識別記号

庁内整理番号
7013-5C

43 公開 昭和59年(1984)8月14日

発明の数 1
審査請求 有

(全 2 頁)

56番組専用表示装置付テレビジョン

有田市箕島158の1

21特 願 昭58-15407

71出 願 人 田中利一郎

22出 願 昭58(1983)2月3日

有田市箕島158の1

72発 明 者 田中利一郎

74代 理 人 弁理士 佐々木弘

明 細 書

1. 発明の名称

番組専用表示装置付テレビジョン

2. 特許請求の範囲

マイコンを組み込んだ番組専用表示装置を映像
製しよう用テレビ画面の周辺に併設した事を特
徴とするテレビジョン受像器。

3. 発明の詳細な説明

本発明はテレビ番組の専用表示装置を設けた
テレビジョン受像器に関するものである。

従来のテレビジョン受像器では多チャンネルシ
ステム等により二ヶ国語の受信が行えるものやビ
デオデッキを用いてテレビ受像器の画面に現実
に現われている画像と別のテレビ局の放映画像
を受像できるものが見受けられるが、往々にし
て現在観しよう中の放映局以外のテレビ局では
何が放映されているのか知りたいことがある。
このような場合、前掲のテレビ番組欄を取り寄
せて調べるか、一時的にテレビチャンネルを切

換えて所望局の放映を確認するという手段をと
っていた。

しかしながら、テレビチャンネルを一時的に
切換える場合、放送においては頻りにノーン
チャルが放映されているため、選択したテレビ局
の放映内容を確認するには相応の時間と不便な
コマーションの観しうを招きにくくしていた。

本発明は、そのような欠点を解消し、必要
に応じて、直ちに放映中のテレビ画面とは無関
係に、テレビ番組専用の表示装置にてその時刻の
テレビ番組が通所に記して表示されるテレビジ
ョン受像器を提供するものである。

以下、本発明の実施例について説明する。
図は本発明のテレビジョン受像器の断面図であ
る。1はテレビジョン受像器本体で、2はテレビ
ジョン受像器のテレビ画面、3はテレビ画面
の横に併設したテレビ番組専用表示装置で、テ
レビ画面の周辺に設けし局の場所と設ければ特
に図示の位置に限ることはない。

4はテレビ通所用のチャンネル欄群で、テレ

番組専用表示装置の調局用を兼用している。
5はテレビジョン受像器のテレビ画面用映像ス
イッチ、6はテレビ番組専用表示装置の電源ス
イッチである。

7はテレビジョン受像器本体に組込まれ、テ
レビ番組専用表示装置に接続されるマイクロコ
ンピュータ用の入力回路で、新聞等のテレビ番
組を自分で入力することができる。

この中に内蔵されているマイクロコンピ
ュータは時計装置と連動し、記憶されているテレビ
番組を時刻に応じてリアルタイムで呼び出せる
ようになっている。

コンピュータの入力は外部入力端子からテー
プレコーダ等に記録されたプログラムに従って
テレビ番組を入力することもできる。

本発明は以上のような構成を有するものであ
るから、例えばテレビ画面で野球の放映を観
しょうしている時、他のチャンネル、例えば12
チャンネルでは何を放映しているのかを知りた
い場合、調局用チャンネル12を押せばテレビ

番組専用表示装置にチャンネル、時刻、
番組名、出演者等が入力されたコンピ
ュータの記憶に基づいて直ちに表示される。

なお、時刻や駅名を設けることにより、指
定した時刻のテレビ番組を任意に呼び出し表
示することもできる。

以上説明したように、本発明のテレビジョン
受像器はテレビ番組専用表示装置を併設し
て、テレビ画面に映っている映像を消すこと
なく、任意時刻に任意のテレビ局のテレビ画面
を立ちどころに知る事ができるものである。

図面の簡単な説明

図は本発明のテレビジョン受像器の斜視図で
ある。

- 1……テレビジョン受像器本体
- 2……テレビ画面
- 3……テレビ番組専用表示装置
- 4……テレビ調局用チャンネル部
- 7……マイクロコンピュータ入力回路

予 続 補 正 書

昭和58年5月16日

特許庁長官 殿

1. 事件の表示

昭和58年特許願第15407号

2. 発明の名称

番組専用表示装置付テレビジョン

3. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

住 所 東京都中央区有田町158の1

氏 名 田 中 利 一郎

4. 代理人 豊 104

住 所 東京都中央区銀座5-10-15

東洋精米ビル4階 電話572-5348

氏 名 (8445) 井 堀 士 佐々木

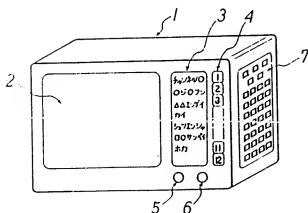
5. 補正命令の日付

昭和58年4月6日(発出日 昭和58年4月26日)

6. 補正の対象 明細書中 第3の各段

7. 補正の内容

明細書第1頁第3行目の発明の名称を「番組
専用表示装置付テレビジョン。」と訂正する。



12 公開特許公報 (A)

昭59-141878

Int. Cl.³
H 04 N 5.64

識別記号

庁内整理番号
7013-5C

43 公開 昭和59年(1984) 8月14日

発明の数 1
審査請求 有

(全 2 頁)

番組専用表示装置付テレビジョン

有田市箕島158の1

発 明 者 昭58-15407

発 出 願 人 田中利一郎

発 出 願 昭58(1983) 2月3日

有田市箕島158の1

発 明 者 田中利一郎

発 代 理 人 弁理士 佐々木弘

明 細 書

1. 発明の名称

番組専用表示装置付テレビジョン

2. 特許請求の範囲

マイコンを組み込んだ番組専用表示装置を映像観しょう用テレビ画面の周辺に併設した事を特徴とするテレビジョン受像器。

3. 発明の詳細な説明

本発明はテレビ番組の専用表示装置を設けたテレビジョン受像器に関するものである。

従来のテレビジョン受像器では多差通信システム等により二重画の受信が行えるものやビデオデッキを用いてテレビ受像器の画面に現実に現われている画像と別のテレビ局の放映画像を受像できるものが見受けられるが、往々にして現在観しょう中の放映局以外のテレビ局では何が放映されているのを知りたいことがある。このような場合、新聞のテレビ番組欄を取り寄せて調べるか、一時的にテレビチャンネルを切

換えて所望局の放映を確認するという手段をとっていた。

しかしながら、テレビチャンネルを一時的に切換える場合、放送においては頻りにコマーシャルが放映されているため、選択したテレビ局の放映内容を確認するには相当の時間不必要のコマーシャルの観しょうを余儀なくされていた。

本発明は、そのような不都合を解消し、必要に応じて、直ちに放映中のテレビ画面とは無関係に、テレビ番組専用の表示装置にその時刻のテレビ番組が通局に応じて表示されるテレビジョン受像器を提供するものである。

以下、本発明の実施例について説明する。図は本発明のテレビジョン受像器の斜視図である。1はテレビジョン受像器本体で、2はテレビジョン受像器のテレビ画面、3はテレビ画面の横に併設したテレビ番組専用表示装置で、テレビ画面の周辺の観しょう角に設けられは特に図示の位置に限ることはない。

4はテレビ画面用のチャンネル表示で、テ

ビデオ専用表示装置の選局部を兼用している。
5はテレビジョン受像部のテレビ画面用電磁スイッチ、6はテレビ番組専用表示装置の電磁スイッチである。

7はテレビジョン受像器本体に組込まれ、テレビ番組専用表示装置に接続されるマイクロコンピュータの人力知群で、新聞等のテレビ番組を自分で入力することができる。

この中に内蔵されているマイクロコンピュータは時計装置と連動し、記憶されているテレビ番組を時刻に応じてリアルタイムで呼び出せるようになっている。

コンピュータの人力は外部人力端子からテープレコーダ等に記憶されたプログラムに従ってテレビ番組を入力することもできる。

本発明は以上のような構成を有するものであるから、例えばテレビ画面2で野球の放映を観しょうしている時、他のチャンネル、例えば12チャンネルでは何を放映しているのかを知りたい場合、選局用チャンネル7を押せばテレビ

番組専用表示装置5にチャンネルナンバ、時期、番組名、出演者等が入力されたコンピュータの記憶に基づいて直ちに表示される。

なお、時刻選取部を設けることにより、指定した時刻のテレビ番組を任意に呼び出し表示することもできる。

と説明したように、本発明のテレビジョン受像器はテレビ番組専用表示装置を併設したので、テレビ画面に映っている映像を消すことなく、任意時刻に任意のテレビ局のテレビ番組を立ちどころに知ることができるものである。

図面の簡単な説明

図は本発明のテレビジョン受像器の新視図である。

- 1……テレビジョン受像器本体
- 2……テレビ画面
- 3……テレビ番組専用表示装置
- 4……テレビ選局用チャンネル知群
- 5……マイクロコンピュータ人力知群

予 読 補 正 書

昭和58年5月16日

特許庁長官

殿

1. 事件の表示

昭和58年特許願第15407号

2. 発明の名称

番組専用表示装置付テレビジョン

3. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

住 所 千葉県山根市美品158の1

氏 名 田 中 利 一郎

4. 代理人 田 104

住 所 東京都中央区銀座5-10-15

東洋精米ビル4階 電話572-5348

氏 名 (8443) 井理士 佐々木

5. 補正命令の日付

昭和58年4月6日(発送日 昭和58年4月26日)

6. 補正の対象 明細書中 発明の名称

7. 補正の内容

明細書第1頁第3行目の発明の名称を「番組専用表示装置付テレビジョン」と訂正する。

